

〔三〕 次の文章を読んで、後の問に答えよ。

元方民部卿の御孫、儲の君にておはする頃、帝の御庚申せさせたまふに、この民部卿まありたまへり。さらなり、九条殿さぶらはせたまひて、人々あまたさぶらひたまひて、攤打たせたまふついでに、冷泉院の孕まれおはしましたるほどにて、さらぬだに世人いかがと思ひ申したるに、九条殿、「いで、今宵の攤つかうまつらむ」と仰せらるるままに、「この孕まれたまへる御子、男におはしますべくは、調六出で来」とて、打たせたまへりけるに、ただ一度に出でくるものか。ありとある人、目を見かはして、めで感じもてはやしたまひ、御みづからもいみじと思したりけるに、この民部卿の御気色いとあしうなりて、色もいと青くこそなりたりけれ。さて後に、霊に出でまして、「その夜やがて、胸に釘はうちてき」とこそたまひけれ。

おほかた、この九条殿、いとただ人にはおはしまさぬにや、思し召しよるゆく末のことなども、かなはぬはなくぞおはしましける。口惜しかりけることは、まだいと若くおはしましける時、「夢に、朱雀門の前に、左右の足を西東の大宮にさしやりて、北向きにて内裏を抱きて立てりとなむ見えつる」と仰せられけるを、御前になまさかしき女房のさぶらひけるが、「いかに御股痛くおはしましつらむ」と申したりけるに、御夢違ひて、かく子孫は榮えさせたまへど、摂政・関白えしおはしまさずなりにしなり。

〔大鏡〕より

注 元方民部卿＝藤原元方。「民部卿」は民部省の長官。 儲の君＝皇太子の候補者。

庚申＝この日の夜に寝ると体内に住む三戸虫が天に上り、天帝にその罪を伝えるとの言い伝えがあり、夜は寝ないで過ごす風習があった。

九条殿＝藤原師輔。娘である村上天皇の中宮安子が当時懐妊中だった。 攤＝双六。 冷泉院＝安子腹の村上天皇第二皇子。

調六＝二個のサイコロの目がともに六になること。 霊＝物の怪。

朱雀門＝平安京の中央を貫く朱雀大路の北の端、大内裏の南面中央にある正門。

問18 二重傍線部A「たまへ」と同じ人物に対する敬意を示すものを、二重傍線部イ〜カの中から選べ。(解答はマークシート)

- 1 イ おはします      2 ウ たまへ      3 エ たまひ      4 オ のたまひ      5 カ おはしまさ

問19 傍線部A「来」の読み方をひらがなで記せ。

問20 傍線部B「ただ一度に出でくるものか。」の意味として、文脈上最適なものを、次の中から選べ。(解答はマークシート)

- 1 たった一度で出てくるものである。  
2 たった一度で出てくるものではない。  
3 たった一度で出てきたのであろうか。  
4 たった一度で出てきたではないか。  
5 たった一度で出てきたはずもない。

問21 傍線部C「口惜しかりけること」とは具体的に何を指しているか。本文中から最適の部分を二十字以内で抜き出し、始めと終わりの二字を記せ。(句読点・記号等は字数に含まない)

問22 傍線部D「なまさかしき」の意味として最適なものを、次の中から選べ。(解答はマークシート)

- 1 お調子者の      2 未熟な      3 たいそう賢い      4 ござかしい      5 機転の利く

問23 この文章の中で、「九条殿」はどのような人物として描かれているか。次の中から最適なものを選べ。(解答はマークシート)

- 1 細かいことにも、他人の思惑にもこだわることのない、スケールの大きな快男児。  
2 常に大言壮語しながらも、自らが望んでかなわなかったことのない、抜群の幸運児。  
3 思いやりに欠ける部分もあるが、とくに自分の娘や孫を大切にす、家族思いの人物。  
4 他人に対して配慮に欠ける言動が多かったために、せっかくの幸運を逃した軽率な人物。  
5 他人の恨みを買いながらも、大胆な発言で周囲を驚かし、子孫の繁栄を決定づけた実力者。